令和4年度 地域ケア推進実務者連絡協議会議事要約

日時：令和5年3月24日（金）

午後2時～4時

場所：枚方市医師会館 大会議室

時 刻 発言者	内 容
事務局司会	<p>それでは定刻となりましたので、令和4年度地域ケア推進実務者連絡協議会を開催致します。</p> <p>本日はご多用のなか、本連絡協議会にご出席くださいますこと誠にありがとうございます。</p> <p>まず、本日のスケジュールについて説明させていただきます。</p> <p>お手元の次第に沿いまして、本日の案件は、1点目は第1層協議体の報告を、2点目は認知症初期集中支援チーム検討部会の報告をさせていただきます。</p> <p>3点目には、在宅医療・介護連携の推進及び多職種連携研究会の報告をさせていただきます。4点目は、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の取組みについて説明させていただき、5点目には、参加者や団体からのご報告をいただく予定としております。</p> <p>それでは、協議会の開催に先立ちまして、福祉事務所健康福祉総合相談課長よりご挨拶申し上げます。</p>
事務局課長	<p>平素は、枚方市の福祉、保健行政にご理解・ご協力をいただきましてありがとうございます。また、本日は、ご多用なか、本連絡会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>この「地域ケア推進実務者連絡協議会」では、認知症施策と在宅医療・介護連携に関する普及啓発活動や課題ならびに円滑な連携についての推進を目的として開催しております。</p> <p>すべての高齢者が個々の心身の状態や生活状況に応じて、いつまでも住み慣れた地域で生きがいを持ち、自分らしい生活を送ることができよう、多職種連携の取組みは今後も引き続き重要となります。</p> <p>今後とも皆様のご理解とご協力をいただきますよう、お願いしましてごあいさつとさせていただきます。</p>
事務局司会	<p>続きまして、本日の出席者ですが、お手元に座席表をお渡ししております。そちらでご確認いただくようお願いいたします。</p> <p>それでは、はじめに、各会議体の連携と在宅医療と介護サービスを一体的に進める体制構築について、ご説明いたします。お手元の資料「枚方市の取組み～イメージ～」をご覧ください。</p> <p>枚方市では、地域ケア推進のための市全域を対象とした2つの協議体があります。本協議会の「地域ケア推進実務者連絡協議会」と「第1層協議体」の関係をお示ししています。この2つの協議体を両輪として、地域ケアの推進を行</p>

	<p>っているところも特徴です。</p> <p>枚方市の特徴としましては、認知症施策と在宅医療・介護連携推進事業を一体的に取り組んでいることです。また、枚方市医師会をはじめとした関係団体と連携できる体制の本協議体を平成 20 年より開催し、長年にわたる多職種連携の体制を構築してきたところも特徴です。</p> <p>具体的な取り組み内容としましては、案件 2 以降でお伝えさせていただきます。</p> <p>また、健康づくり・介護予防課が担当課である「第 1 層協議体」は、介護予防・自立を支援する「介護予防・日常生活支援総合事業」に関する取り組みを推進しています。この後、案件 1 にてご報告させていただきます。</p> <p>それでは、早速ですが、案件 1 にうつります。本日、健康づくり・介護予防課は欠席しておりますので、事務局より伝達させていただきます。</p>
事務局	<p>案件 1：第 1 層協議体の報告について</p> <p>配布資料：資料① 第 1 層協議体（第 1 回目・第 2 回）次第・配付資料</p> <p>第 1 層協議体は、介護予防・日常生活支援総合事業における生活支援サービスの体制を整備するため、関係機関のみなさまと地域の課題を共有し、意見交換を行いながら、ともに地域包括ケアシステムを創り上げていくためのものです。</p> <p>第 1 回開催では、ひとつ目の案件として、資料に基づき令和 3 年度の介護予防・日常生活支援総合事業等の実績報告を行いました。ふたつ目の案件は、摂南大学が行った枚方市高齢者居場所づくり事業 インタビュー調査の報告についてです。令和 2 年秋に、高齢者居場所の取り組みの支援策を検討する、摂南大学の調査研究事業の一環として聞き取り調査が行われ、11 か所の高齢者居場所にご協力をいただきました。このインタビュー調査を取りまとめた報告書が、お配りしております資料『居場所からはじめる地域づくり 枚方市高齢者居場所づくり事業インタビュー調査報告書』になります。この調査内容につきまして、インタビュー調査を行った摂南大学の上野山講師から、報告いただきました。</p> <p>第 2 回開催では、ひとつ目の案件は、第 2 層協議体事務局事務及び元気づくり・地域づくりコーディネーター事務委託契約について報告を行いました。令和 5 年度の業務委託を行うにあたり、仕様書の内容及び契約金額について確認を行いました。ふたつ目の案件は、地域課題の検討についてです。各種地域ケア会議で抽出されました地域課題につき、検討を経て具体策につながった地域課題等について報告を行いました。また併せて、「地域包括支援センター全体会議」において「自立支援型地域ケア会議」「多職種連携研究会」等で抽出された地域課題をとりまとめ、「高齢者の居場所づくり・外出支援について」「医療・介護連携について」「高齢者の孤立について」といったテーマごとに分類・整理し検討を行い、それぞれテーマごとに課題面のまとめ・取り組みについてのまとめを記載し、考察を加えたものについて報告を行うことにより第 1 層協議体で課題共有し、課題解決の糸口を探るべく意見交換を行いました。</p>

事務局司会	この報告について、ご意見等がございましたら、後日健康づくり・介護予防課へお問い合わせくださいますようお願いいたします。
事務局司会	それでは、続きまして、健康福祉総合相談課より、案件 2. 認知症初期集中支援チーム検討部会の報告をさせていただきます。
事務局	<p>案件 2：認知症初期集中支援チーム検討部会の報告 配付資料：資料②認知症初期集中支援チーム検討部会議事要約・次第・配付資料</p> <p>認知症初期集中支援チーム（以下、支援チームと言います）は、認知症初期段階における包括的・集中的支援、早期対応に向けた支援体制構築を目的に設置し、市内医療機関に業務委託しております。</p> <p>はじめに、令和 4 年度の支援チーム設置・業務委託状況の変更点についてお伝えいたします。令和 4 年 4 月、前年度に引き続き、東香里病院・松谷病院に業務委託しました。令和 4 年 11 月、松谷病院より、仕様書に記載している人員、専門職 2 名以上、専門医 1 名の計 3 名以上のうち、専門職の確保が困難と報告を受け、その後、人員確保の目途が立たないことから契約期間を 3 月末から 11 月末に変更しました。12 月から 3 月の期間、東香里病院に市内全域の対応を依頼しております。</p> <p>それでは、令和 5 年 2 月に開催しました、検討部会についてご報告いたします。検討部会は、活動状況報告や協議を行い、必要時、次年度事業への改善に反映していくことを目的に開催しております。今回のご報告では、主に、案件 1 発動状況・活動報告と案件 4 認知症施策取組み実績及び次年度の取組みについて、一部、抜粋しながらお伝えいたします。案件 2 意見交換会報告、案件 3 医師会協同研修報告につきましては、お手元の議事要約・配布資料を後ほどご確認ください。</p> <p>案件 1 発動状況・活動報告について、お手元の「資料②-3 支援状況一覧」をご覧ください。チーム員より、依頼目的や訪問時の本人・家族状況、支援内容と経過、今後の課題等を報告の報告がありました。出席者からは、「支援チームへの依頼により、他機関やチームドクターの視点を含めアセスメントでき、支援方法を検討できることが大変良かった」、「重層的支援体制整備事業の案件で、複合的課題を持つ認知症世帯のケースがあった際には、つなぎ先の 1 つとして支援チームが活用できるのではないかと考える」、「発動ケースは困難ケースばかり。年間発動件数としては少ないが、通常のケースはすでに包括がフォロー中とも捉えられる。独居での認知症は、今後さらに増加していくと予測され、発動ケースは社会の縮図といえる」等の意見をいただきました。今後も発動実績を積み重ねていくこと、支援体制整備の更なる推進が必要であることを再認識する機会となりました。</p> <p>続きまして、案件 4 認知症施策取組み実績及び次年度の取組みについて、お手元の資料②-8「取組み実績及び次年度の取組みについて」をご覧ください。</p>

	<p>さい。資料にありますように、支援チーム事業推進・認知症早期把握・対応啓発活動が、今年度の主な取り組みの一つとして挙げておりましたので、その活動内容をご報告しました。また、出席者と意見交換を行い、次年度の取組みとして、支援チーム事業について、引き続き外部機関への周知を図る方針となりました。チーム活動を周知する媒体、PR 動画等を作成、地域包括支援センター主催介護保険事業所連絡会等で配信、紹介したり、複数年かけてチーム員が事業所連絡会等に出向き、活動周知と共に関係機関と顔の見える関係につなげていくことを検討しています。</p> <p>枚方市における支援チーム事業の発動では、支援のアプローチが難しい困難事例も多くありますが、初期段階における包括的・集中的支援、早期対応に向けた支援体制構築という課題解決のために、今後も取組みを進めてまいります。認知症初期集中支援チーム検討部会については以上です。</p>
事務局司会	この報告について、ご意見等はございますか。
健康福祉政策課	<p>健康福祉政策課は検討部会に参加し、6件の発動事例の状況や振り返りについて報告を受けました。発動件数としては少ない状況ですが、いずれも困難事例であり、会えるかわからないが訪問しよう、まずは家族からアプローチしてみようと、チーム員はさまざまなアプローチで、6 か月間じっくり関わっておられました。また、本人の好きなこと、生活歴等を聞き、介護保険外サービスも含めて生活体制の整備につながるアプローチを検討していました。認知症の方に対する支援の際に利用できる重要な資源として、活用できるものと考えています。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本日ご出席いただいた皆さまにおかれましても、認知症初期集中支援チームについて各団体へ周知していただければと思います。気がかりなケース等があり、支援チームの活用をお考えの際は、まずはお近くの地域包括支援センターへご相談ください。</p>
事務局司会	それでは、続きまして、案件3 資料③-1 在宅医療・介護連携の推進について、枚方市医師会、在宅医療・介護連携支援コーディネーター、健康福祉総合相談課、保健所より、報告させていただきます。
医師会、在宅医療・介護連携支援コーディネーター、保健所医療課、健康福祉総合相談課	<p>案件3：在宅医療・介護連携の推進</p> <p>配付資料：資料③-1 在宅医療・介護連携推の推進について</p> <p>資料③-1 をご覧ください。はじめに、資料1 ページ目の枚方市の地域包括ケアシステム構築の取り組みについてご説明します。本市では、いわゆる「団塊の世代」がすべて75歳以上となる2025年（令和7年）をめどに地域包括ケアシステムの実現を目指し、これまで築き上げたシステムの深化・推進に努めているところです。</p> <p>資料4 ページ目以降は、在宅医療・介護連携推進事業実施状況を報告します。今年度は、地域の医療・介護の資源の把握、医療・介護関係者の情報共有の</p>

支援として、かかりつけ医マップの作成・配布を行いました。今年度も、医師会コーディネーター活動として、多職種連携研究会等へ参画しております。

続きまして、在宅医療・介護連携に関する相談支援である電話相談窓口についてです。市内訪問看護ステーション管理者が関係機関の相談に対応しており、医師会コーディネーター・バックアップ医師によるフォロー体制があります。今後も関係機関の皆様への周知を進めてまいります。

次に、課題抽出と対応策の検討として取り組んだ、認知症支援体制構築についてご報告します。令和4年7月、認知症疾患医療センター東香里病院・医師会とで協働し、「認知症の方への支援体制構築」をテーマに関係機関向け研修を開催しました。研修には65名が参加し、公開討論ではかかりつけ医・認知症サポート医・疾患医療センターそれぞれの立ち位置、認知症医療の実態や検査・治療への見解、今後の連携について話し合われました。研修後アンケート等では、認知症医療連携の実態や今後の展望について話し合われたことへの意義を評価する内容が多数ありました。次年度以降も、引き続き認知症疾患医療センターをはじめ、関係機関との協働を進めてまいります。

続いて、令和5年1月に開催した研修についてです。研修には78名が参加し、はじめに、認知症サポート医松尾医師に、かかりつけ医・関係機関の認知症対応力向上を目的とし、ご講演いただきました。次に、認知症初期集中支援チームの周知・支援体制の構築・推進を目的として、ロールプレイも交え、講演を行いました。事後アンケートでは、「サポート医の講義は、資料・データを見ながらの説明でわかりやすく参考になった」、「初期集中支援チームについて、ロールプレイで流れを再現したことでより理解が深まった」等のご意見をいただきました。なお、ロールプレイについては現在動画編集中で、後日医師会等、関係機関向けに配信予定です。発動の流れや支援の実際等、大変わかりやすい内容となっております。各団体様のホームページにおかれましても、動画配信案内等ご協力いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

次に、認知症啓発についてご報告します。市公式ユーチューブチャンネル、市ホームページに、計5本の認知症啓発動画をアップしております。これらの動画再生数は総計60万回を超え、大変ご好評をいただいております。今年度配信動画は今後の認知症の状況、展望を示す内容となっておりますので、一度ぜひご視聴ください。

世界アルツハイマー月間イベントの取組みもご紹介します。市役所別館出入口での啓発コーナー設置、広報ひらかたへの記事掲載を行いました。また、京阪電鉄枚方市駅にて、市キャラクターひこぼしくんも登場し、啓発オレンジティッシュ・チラシを配布しました。また、平和の鐘カリヨン（ヒラリヨン）のオレンジライトアップも行いました。

次年度は、市民への普及啓発として認知症に関する講演会を開催予定です。9月アルツハイマー月間等イベント等も検討しております。

また、継続して、医療・介護の支援体制整備が必要と考えています。知識・

支援技術習得・対応力向上として関係機関向け研修会開催を検討しております。

続きまして、ACP 普及啓発に向けた取り組みについてご報告します。前年度に引き続き、ACP 冊子等を担当課等で配布しております。9月には広報ひらかたに終活特集を掲載、市民の反響は大変大きく、ACP 冊子の配布希望やお問い合わせが殺到しました。

また、今年度は、「私らしく生ききる」ためのそなえについて、2回コースで市民向け講演会を開催、1回目は56名、2回目は50名の方が出席されました。講演会後アンケートでは、参加したほぼ全ての方が周囲に思いを伝えておくことが必要と回答、また、専門的な内容だったが大変参考になった、今後も開催してほしいという声を多数いただきました。

次に、人生会議の日に関連したイベントをご紹介します。広報ひらかたへの記事掲載とともに、市役所別館出入口に啓発コーナーを設置しました。各支所や関係部署、医療機関へもポスター掲示を依頼しました。

次年度以降も、人生の最終段階における医療・介護等への理解を深めてもらえるよう、作成した冊子等を活用したり、市民向け講演会を開催し、市民への普及啓発を図ります。また、知識・支援技術の習得・向上として、関係機関向け研修会の開催を予定しております。そのほか、当協議会 ACP ワーキンググループに参加し、連携面の課題や不足する資源等を抽出・方策を検討する取り組みも検討しています。引き続き、地域の実情に応じ、取組内容の充実を図りつつ PDCA サイクルに沿った取組を更に進められるように事業を展開してまいります。

17 ページ目以降は、在宅医療・介護連携推進事業以外の事業等のご報告です。市民向け講演会を枚方 T-SITE で開催、55 名の方が参加されました。アンケートでは、「全く知識がなかったので関わりの入り口に立てた」等のご意見をいただきました。また、市内小学校向けに、認知症フレンドリーキッズ授業を試行的に行い、認知症の理解を進める一助となったと考えます。

18 ページ目は、保健所保健予防課の実績報告です。令和5年3月1日、在宅難病患者・家族が安心して療養できる医療・福祉のネットワークを構築するため、構成団体における意見交換や課題解決に向けた実務者会議を開催しました。

また、医療ネットワークの構築を目的として、令和4年11月8日、個別事例検討会を開催、講師は大阪樟蔭女子大学学芸学部心理学科高橋裕子教授をお招きしました。15 名の方が参加され、難病患者・家族について心理的側面から理解を深め、必要な支援について学ぶ機会となりました。

19 ページ目は、保健所保健医療課の報告です。医療と介護の連携強化ネットワーク部会として、部会立ち上げに向け、構成団体等と開催時期等調整中です。また、病院や施設と介護支援専門員の情報連携を目的とした情報連携シートについて、コンソーシアム連携事業「医療と介護の連携強化ネットワーク」として周知、評価予定です。報告は以上です。

事務局司会	<p>ご報告ありがとうございました。この報告について、ご意見等はございますか。</p> <p>(なし)</p>
事務局司会	<p>続きまして、地域包括支援センター主任ケアマネ部会より、案件3 資料③-2多職種連携研究会実施内容一覧表・課題整理一覧表について、ご報告いただきます。これまでは、枚方市全域での取組みでしたが、次は、日常生活圏域での取組みについてお伝えいたします。</p>
主任ケアマネ部会	<p>案件3：在宅医療・介護連携の推進について</p> <p>配付資料：資料③-2多職種連携研究会実施内容一覧表・課題整理一覧表</p> <p>多職種連携研究会は、地域の実情に即した課題の抽出・振り返りにより、多職種の連携を図ることを目的として、平成28年度より、地域包括支援センターが事務局となり日常生活圏域ごとに開催しております。お手元の資料③-2多職種連携研究会実施内容一覧表・課題整理一覧表をご覧ください。</p> <p>「多職種連携研究会実施内容一覧表」は、各包括研究会の開催意図や成果、参加人数を一覧にしたものです。研究会では、様々なテーマを介し医療と介護の連携を図ることを目的としています。「課題整理一覧表」は、運営にあたって課題、抽出された地域・連携の課題をまとめております。</p> <p>運営上の課題では、コロナ禍での課題・今後の展望を挙げています。コロナ禍の状況を鑑み、アンケート調査や感染防止対策を講じての対面開催、オンライン開催等、各圏域において運営方法を工夫しながら、会議を実施してまいりました。収容人数の多い会場確保に苦慮したり、感染拡大の影響で職員の参加自体が困難となったり、オンライン開催に伴う会議運営の難しさがある等、多くの課題に直面した1年でした。また、参加状況全体の課題としては、多くの機関に参加していただくための開催日時の設定に苦慮したり、参加事業所の偏りがあり、状況把握と効果的な周知が必要と考えています。なお、今年度も、周知方法の一環として、枚方市医師会員様向けにチラシ発送を依頼しました。添付している周知ちらしもご参照ください。</p> <p>地域・連携の課題では、コロナ禍による地域サロンの休止、民生委員活動の制限、対面開催の機会減少による連携への影響が生じています。また、高齢者の身体機能・認知機能低下が生じている現状が伺えました。今後も、多職種がどのように連携を持ち、取り組めばよいのかが課題と捉えています。関係機関の役割・機能等に関する課題では、「歯科と多職種の連携」において、情報共有の場の設定や医院・薬局を含む支援体制整備の必要性が挙がりました。「在宅での看取り」においては、事前にACPに取り組んでおく重要性、多職種全体の実践力向上、日頃から連携を深めておく必要性を再認識しました。</p> <p>コロナ禍のため、従来通りの連携が制限されることもありましたが、今までの顔の見える関係性を活かし、対象者への支援を積み上げつつ、お互いの役割や強みを理解して、継続的に連携することが重要と考えています。多職種の視点の違いを知り、業務内容や役割、強みを互いが理解すること、そのうえで、</p>

	<p>円滑な連携と対応力の向上につなげることを目的に、今後も創意工夫を凝らし、取組を進めてまいります。引き続き、ご理解ご協力を何卒よろしくお願いいたします。</p>
事務局司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>引き続き日常生活圏域ごと開催し、地域の実情に即した課題の抽出や積み上げ、振り返り、そこから見える市全域の課題抽出を行っていきます。</p> <p>多職種連携研究会と地域課題について、ご意見等はございませんか。</p>
歯科医師会	<p>現在は 13 圏域中半数程度の参加となっておりますが、以前は全圏域の多職種連携研究会に参加しており、各地域包括支援センターで特色があると感じています。参加者についても、民生委員や商店街やスーパー、郵便局、銀行等等、それぞれ圏域で多様な方が参加されており、医療・介護関係者だけではなく、地域全体で高齢者の見守りを行っていく視点で開催しておられました。また、コロナ禍を契機に、ハイブリッドやオンライン形式での会議参加が浸透してきたことはよかったと思っています。</p> <p>歯科に関連する地域課題としては、先ほどご報告があったように、情報共有できる機会が少ない状況です。そのため、医療機関や訪問看護、介護事業所等、さまざまな機会情報共有できる場を設けるようにしています。</p>
事務局司会	<p>ご意見ありがとうございます。コロナ禍において、各圏域がオンラインの活用等、試行錯誤しながら進めてきた3年でした。開催形式においては、選択肢の増加は確かに前進と捉えられると思います。</p> <p>また、関係機関連携・情報共有の場に、歯科専門職に参加してもらえると視点が広がり、新たな支援の切り口や支援の質の向上にもつながると感じています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局司会	<p>それでは、続きまして、案件4 ACP ワーキンググループの取組みにうつります。健康福祉総合相談課より報告させていただきます。</p>
事務局	<p>案件4：ACP ワーキンググループの取組み</p> <p>配付資料：資料④ACP ワーキンググループの取組み</p> <p>このACP ワーキンググループは、前年度当協議会にて議題にあがり、今年度より新たに活動しているグループです。お手元の資料④をご覧ください。令和4年8月、12月時の活動について、ご報告させていただきます。</p> <p>このワーキンググループは、各関係機関の現状・課題の情報共有、今後の取組み検討を目的に開催いたしました。今回は、参加機関のご報告、今後の取組みの概要を抜粋してお伝えします。</p> <p>(資料④を一部読み上げ、各機関のご意見を紹介)</p> <p>資料にありますように、あるべき理想は、「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、人生の最期の迎え方について話し合える環境づくりが進み、医療機関と介護事業所等の関係者の連携体制が構築できる」ことだと考えます。しかし、現実としては、「人生の最期の迎え方を</p>

	<p>考えたり、話し合えるような機会が十分でなく啓発が必要」「自らが望む医療や介護を考え、関係機関を含む周囲と話し合いながら、準備が整えられていないケースがある」「望んだ医療や介護を最期まで受けられる医療・介護の連携体制が整えられていないケースがある」といったような状況が伺えます。</p> <p>本人、家族側の要因としては、意識と関心の低さ、知識・認識・理解の不足、「今ではない」という思い等があり、医療・介護職員側の要因としては、知識とスキルの不足、意思決定支援の役割を担う意識の不足、開始のタイミングがわからない、好事例やロールモデル不足による実践への不安等がある状況です。</p> <p>今後の取組みの方向性としては、ACPを進める手順が記載された手引き等の作成を予定しております。具体的には、病状悪化が予測される状態～人生の最終段階（急変時含む）について、支援の基本を掲載します。また、ACPの話を持ち出しやすくなるよう、「大事なこと、やりたいことは何か」から尋ねるような意向確認書等のツール作成も検討しております。</p> <p>さらに、並行して、医療・介護職員側のスキルアップを目指す取組みが必要と考えております。ツールは作成するだけでなく、普及が大事です。地域包括支援センター多職種連携研究会や各団体の研修会等の機会に複数回説明する等、普及させていく試みを検討していきたいと考えております。ツールを枚方市バージョンとして作成、普及していくことで、基本的な知識・スキルの習得やACP支援の導入に活用できると捉えております。</p> <p>このワーキンググループにおいて、目指す姿を見据えながら、当面の短期目標を繰り返し、長期目標であるゴールを目指していくこととなります。今年度ご参加いただきました各機関におかれましては、次年度もご協力賜りますようお願いいたします。また、今後の活動の基盤となる次年度、新たにご参加くださる団体も絶賛募集中です。この機会に、ぜひ前向きにご検討ください。当課までのご連絡、心よりお待ちしております。</p>
事務局司会	<p>ただいまの報告について、ご質問等はございますか。</p>
薬剤師会	<p>枚方市薬局で勤めて十数年となるが、重症の認知症の方の来所が以前よりは少なくなり、内服治療をされていても、地域で生活されている方も見受けられます。様々な支援体制の整備等、関わりによるものではないかと感じました。</p> <p>また、多職種連携研究会では、薬局との連携をテーマとした内容もありました。薬局も、「患者様のその後の経過がわからない」等、他機関との情報共有について課題があり、情報共有の場等が必要であると考えております。</p> <p>先ほどのご報告にあったACP支援ツールの作成・普及については、非常に有用な取組みであり、薬剤師会として、引き続き関わりたいと考えています。</p>

事務局司会	<p>ご意見ありがとうございました。</p> <p>今後も、認知症の方への支援体制づくりや多職種連携研究会での情報共有の場の検討等について、関係機関が連携して取り組んでいくことが重要であると考えています。</p> <p>また、ACP ツールは、各関係団体の皆さまのご意見を伺い、作り上げていくことで有用なものにつながっていくと捉えております。引き続き、ご協力よろしくをお願いします。</p>
事務局司会	<p>それでは、続きまして、案件5 参加者・団体からの報告・提案・要望事項等にうつります。</p> <p>枚方市歯科医師会より「令和4年度口腔機能管理体制確保事業について」のご報告をお願いします。</p>
歯科医師会	<p>案件5：参加者・団体からの報告・提案・要望事項等</p> <p>大阪府事業の一環として、各支部でアンケート調査を行いました。車いす利用の方のチェア移乗対応が可能かどうか等、各項目を掲載しております。今後の相談対応時、一つの資料としてご活用いただければと思います。</p>
事務局司会	<p>ありがとうございました。ただいまのご報告について、ご質問等はございますか。</p>
医師会	<p>令和5年度医師会が作成予定にしている医療・介護資源集においても、これらの項目を追加することは可能でしょうか。</p>
歯科医師会	<p>医療・介護関係者の支援に幅広く活かしてもらえるよう、医療・介護資源集においても掲載できるよう調整いたします。</p>
事務局司会	<p>それでは、続きまして、地域包括支援センターより、「地域課題抽出・まとめ考察」についてのご報告をお願いします。</p>
地域包括支援センター	<p>案件5：参加者・団体からの報告・提案・要望事項等</p> <p>配付資料：資料⑤地域課題抽出・まとめ考察</p> <p>本日は、在宅医療・介護連携の推進を目的とした本会議において、令和3年度に地域包括支援センターが主催する地域ケア会議にて抽出された地域課題、課題に対する取組みのまとめ・考察をご報告させていただきます。</p> <p>それでは、お手元の資料⑤をご覧ください。こちらは、令和4年度第2回第一層協議体資料より抜粋したものです。まずは、枚方市の地域包括支援センター関連の地域ケア会議について、ご説明いたします。「地域ケア会議」は、枚方市の高齢者の保健・医療・福祉・介護サービス等の社会的基盤が有機的に連携することができるような環境整備を行うとともに、高齢者及びその家族が尊厳を保ちながら住み慣れた地域において生活できるよう、個人で解決できない課題等を多職種で解決し、そのノウハウの蓄積や課題の共有によって、「地域づくり・ネットワーク構築・資源開発・政策形成」等につなげることを目的として、開催しています。</p>

	<p>構成図は次のとおりです。枚方市全域を対象範囲とする地域ケア会議は市が主催、日常生活圏域での地域ケア会議は地域包括支援センターや第 2 層協議体事務局が主催しています。その中から、地域包括支援センターが主催する地域ケア会議である、「自立支援型地域ケア会議」、「多職種連携研究会」、「個別地域ケア会議」で抽出された地域課題や、課題に対する取組みについて地域包括支援センターでまとめています。</p> <p>課題の内容及び取組みは多岐にわたり、「高齢者の居場所づくり・外出支援について」、「医療・介護連携について」、「高齢者の孤立について」、「家族支援について」、「認知症について」、「地域包括ケアシステムの構築に向けて」と課題の内容によって項目を分け、課題内容や取組み、考察としてまとめています。</p> <p>それでは、はじめに、「医療・介護連携について」ご報告します。多様な疾患や背景を抱える高齢者を支援するためには、主任ケアマネ部会より報告があったように、多職種連携研究会の継続・充実が必要です。引き続き、医療機関、介護保険事業所、保健所等関係機関との情報共有・有機的な役割分担を行い、連携を進めてまいります。</p> <p>続きまして、「認知症について」ご報告します。今後も、個別の支援において、個別地域ケア会議などを通じた地域、関係機関との連携を推進します。また、見守り 110 番協力店舗、SOS ネットワーク協力機関とのネットワーク維持・強化に取り組みます。地域住民の理解を深めるために、認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座等を開催するとともに、医師会、医療機関、介護保険事業所等と連携し、認知症の早期発見・対応に向けた普及啓発活動を実践してまいります。</p> <p>今後とも、地域包括支援センターの活動にご協力賜りますようお願い申し上げます。本日は、報告の機会をいただき、誠にありがとうございました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。ただいまのご報告について、ご質問等はございますか。</p>
医師会	<p>地域包括支援センターの現状として、相談件数はコロナ禍前と比較して増加しているのでしょうか。</p> <p>本人やご家族は、困り事があれば、開業医ではなくケアマネジャーや地域包括支援センターに相談されるのではないかと思います。ケアマネジャーだけでは対応しきれない困難事例に、在宅医療・介護連携推進事業の電話相談窓口等を活用していただければと考えています。</p>
地域包括支援センター	<p>コロナ禍以降、介護認定申請や申請後の相談等、相談件数は増加傾向にあります。先日も、急遽退院となり、訪問診療等を対応している医療機関につないだのですが、うまく調整がつかず困ったケースがありました。電話相談窓口等の利用も考えていきたいと思っています。</p>

医師会	<p>在宅診療については、チームを組んで対応していく必要があり、関係者で連携を図りながら取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>ここ数年で、市内開業医は 20 件以上増えているので、地域包括支援センターとはぜひ連携を深めていきたいと思ってます。また、令和5年度、地域包括支援センターと協力し、研修等を進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
15：45～ 事務局司会	<p>その他、参加者・団体からのご質問やご意見等はございますか。 (なければ)</p> <p>最後に、事務連絡をさせていただきます。 お手元のメールアドレス確認表をご覧ください。 今後の事務連絡等に使用させていただくために、貴団体事務局等のメールアドレスをお伺いします。</p> <p>なお、すでに、メールアドレスをお伺いしている団体は、記載しておりますが、もし修正等がありましたら、二重線のうえ、改めてご記載ください。</p> <p>お帰りの際に事務局職員にお渡しいただくか、後日ご提出の場合は、4月7日(金)までに、記載の連絡先まで返信いただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは、これをもちまして、令和4年度地域ケア推進実務者連絡協議会を終了いたします。本日はどうもありがとうございました。</p>